



未来探究祭

～Final STAGE 開催案内～

データを活用しながら

地域の未来を

協働で探究！

全国4,000名以上の「未来探究ゼミナール」を受講した生徒を対象とした
“未来探究祭” 各選考を通過した11チームが集い、プレゼンテーションを行います
お祭りのクライマックスをお見逃しなく！ ※一部のチームはオンラインでの参加、
プレゼンテーション発表(予定)となります。



“未来探究ゼミナール”と“未来探究祭”は、第9回ジャパン・ツーリズム・アワードにて、審査委員特別賞を受賞しました！

開催日時 2026

● 時間 12:00～17:00(予定)

● 会場 東京大学伊藤謝恩ホール

● 開催 上記会場にて開催予定
(※ オンライン配信は予定していません)

● 費用 見学無料

2/22 (日)

開催会場のアクセス

会場:東京大学伊藤国際学術研修センター伊藤謝恩ホール

・所在地:東京都文京区本郷7-3-1 ・実施会場が変更になる場合もございます



見学申込はこちら

申込人数:先着100名様まで

申込受付:2月19日(木)17:00まで

こちらより
お申込み下さい



<最寄駅からのアクセス>
地下鉄丸ノ内線
本郷三丁目駅より徒歩8分
地下鉄大江戸線
本郷三丁目駅より徒歩6分
地下鉄千代田線
湯島駅・根津駅より徒歩15分

そもそも未来探究祭・未来探究ゼミナールとは？

次ページ以降もご覧下さい。2025年度DXハイスクール認定校でも活用中です！

未来探究ゼミナールについて

「未来探究ゼミナール」とは、観光や地域活性化をテーマとした協働型地域探究学習プログラムです。
観光に関するビックデータが詰まったJTBオリジナルアプリケーション『観光予報DS（Data-Science）』を使って仲間と協働して地域の魅力や課題を深掘りし、未来に向けた課題やアイデアを考え、ポスターにまとめて発表します。



未来探究ゼミナール
紹介動画もご視聴ください！

プログラムの構成

学校のご要望に応じて実施内容をアレンジできます。（**修学旅行先探究**も可能）

オプション

データ学習基礎
未来探究ゼミナール
データ分析編

楽しみながら
データサイエンスのトレーニング

基本プラン

地域探究実践
未来探究ゼミナール
総合編

仲間と協力しながら
地域の課題を探究する

希望チーム参加制

成果発表・他校交流
未来探究祭
イベント型コンテスト

他校と競争＆共創で
地域の未来を創り出す

授業構成 3～7コマ

（④～⑥は表計算ソフト利用）

- ① 身近なデータと代表値
- ② データの種類と収集
- ③ データの着目ポイント
- ④ クロス集計
- ⑤ 分散と標準偏差
- ⑥ 散布図と相関係数
- ⑦ 回帰分析の考え方

授業構成 8コマ

（②③コマ目はJTBファシリテーション）

- ① 観光予報DSレクチャー
- ② テーマ決めと具体化
- ③ 根拠となるデータ収集
- ④ 成果物の骨格づくり
- ⑤ 成果物制作
- ⑥ 成果物制作・グループ間協働
- ⑦ 成果物制作・校内発表準備
- ⑧ 校内発表・審査・振り返り

大会スケジュール 12月～2月

（未来探究ゼミナール実施校限定）

- 1st STAGE 書類審査
2nd STAGE 交流・協働
3rd STAGE 動画審査
Another STAGE オンライン発表
Final STAGE プレゼン審査

未来探究祭 (2025年度) 1st ~3rd STAGEの実施内容

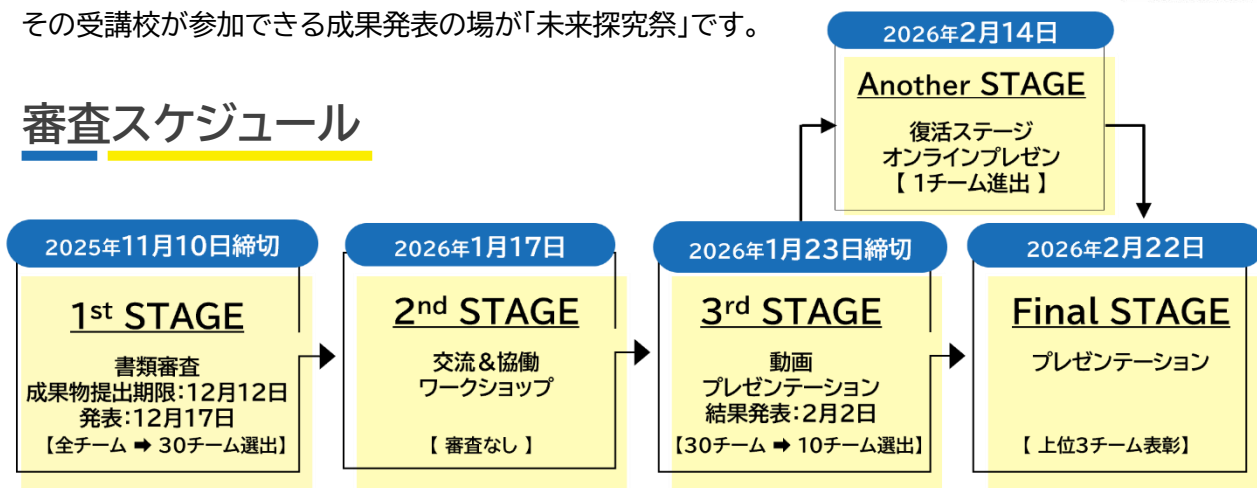
未来探究祭^{さい}とは？

中高生がデータを活用しながら地域探究を行う
授業パッケージ「未来探究ゼミナール」。
その受講校が参加できる成果発表の場が「未来探究祭」です。

概要はこちらへ



審査スケジュール



1st STAGE ~授業で考えた内容をエントリーシート、成果物にまとめる~

エントリー281チームから提出のあった、①エントリーシート ②未来探究ゼミナールで作成した成果物(ポスター・スライド) をもとに、2nd STAGEに進む30チームが選出されました。

2nd STAGE ~オンライン交流会 / 学校の枠を超えた、他校生徒との交流・協働ワーク~

2026年1月17日(土)

オンライン開催 14:00-17:00

参加12校 | 中高生122名

※都道府県コード順

北海道 北海道岩見沢東高等学校	埼玉県 西武台高等学校	東京都 成立学園高等学校	愛知県 愛知県立岡崎商業高等学校
茨城県 茨城県立勝田中等教育学校	埼玉県 星野高等学校	神奈川県 浅野高等学校	徳島県 徳島県立徳島北高等学校
埼玉県 昌平高等学校	千葉県 昭和学院高等学校	福井県 福井県立金津高等学校	大分県 岩田高等学校



修学旅行生に人気のお土産グランプリ

3校の生徒で構成されたブレイクアウトルームで、3県の特産品を掛け合わせた『修学旅行生に人気のお土産』を考えていただきました。
考えたお土産は全体発表を行い、生徒による投票を経て、一番買ってみたいお土産No.1が選ばれました！(右図18番)

3rd STAGE ~発表動画の制作~

2nd STAGEに参加した30チームが作成した発表動画をもとに、審査員による審査が行われます。



未来探究祭 (2024年度) Final STAGEの実施内容

Final STAGE ～ 発表 & 他校生徒との交流・協働 ～



2025年2月23日(日)

東京大学伊藤謝恩ホール 12:00-17:00

参加10校 | 中高生47名

書類・動画審査を勝ち進んだ10校12チームの生徒たちが、東京大学伊藤謝恩ホールに集まり、ステージ上で5分間の発表と審査員との質疑応答を行いました。また2nd STAGEに続き、他校生徒との交流会として「未来を共創するワークショップ」に参加していただきました。

審査員

※敬称略

- 加藤 諒 (国立大学法人 一橋大学大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科 准教授)
仙田 直人 (成蹊中学・高等学校 校長)
田中 康平 (株式会社ネル・アンド・エム 代表取締役)
中野 憲 (一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構 理事・事務局長)
松本 慕美 (株式会社白草 代表取締役)

他校生徒との交流会

～ 未来を共創するワークショップ～

気球による宇宙遊覧プロジェクト“OPEN UNIVERSE PROJECT”を主催する岩谷技研によるワークショップを開催しました。岩谷技研が挑戦している事、キャッチコピー「週末、宇宙いく？」の誕生秘話やネーミングのコツなどをお話いただきました。ワークの時間では、4～5校の生徒で構成されたチームにて、世界初の「気球での宇宙遊覧フライト第一号機」のネーミングを考えていただき、全体へ発表。ネーミングに対して、岩谷技研の方よりコメントもいただき、嬉しそうにされている生徒さんがとても印象的でした。



【お問い合わせ先】

未来探究祭 運営事務局

(株)JTB 企画開発プロデュースセンター内

担当：太田・濱野・玉木・齊藤・小野

メール：miratan01@jtb.com

電話：03-6704-5527

未来探究祭

